

## 各検証項目の検証内容及び視点

※ 本資料は事務局が作成した検討段階のものであり、委員会における検証結果を示す資料ではありません。詳細は議事要旨をご確認ください。

資料4

### 検証項目① 住民への情報伝達

#### (1) 検証内容

原子力災害時の効果的な情報伝達手段の整備方針、情報伝達の在り方などについて評価。

#### (2) 検証の視点

- 自治体の情報発信手段（テレビ、ラジオ、インターネット（SNS）、エリアメール、防災行政無線、原子力防災アプリ、双方向情報伝達システムなど）における情報発信体制（発信主体、想定受信対象）
- 情報伝達手段の多様性、可用性の確保（災害時にも伝達可能なこと、多様な属性の住民に伝わること）
- 原子力災害特有の防護措置の効果的な周知、正しい行動誘導の在り方
- 屋内退避の効果的な呼びかけ方、PAZの避難の阻害要因となる避難指示対象外の住民の避難の抑制
- 流言の抑制、住民の不安を抑制する正確な情報発信の在り方

## 各検証項目の検証内容及び視点

※ 本資料は事務局が作成した検討段階のものであり、委員会における検証結果を示す資料ではありません。詳細は議事要旨をご確認ください。

### 検証項目② 防災業務にあたる要員、防災資機材の確保方策

#### (1) 検証内容

- 動員する防災業務関係者の確保・配備方針などについて評価。
- 必要となる防災資機材の確保の在り方、保管場所、搬送方針などについて評価。

#### (2) 検証の視点

##### (要員の確保方策)

- 考慮すべき防災業務の範囲、要員数の見積り
- 要員数の確保や応援・受援の考え方
- 防災要員の被ばく線量限度と線量管理の考え方

##### (資機材の確保方策)

- 必要な資機材の範囲、必要数の見積り
- 資機材の保管場所と発災時の資機材搬送の考え方
- 資機材数が不足する場合の確保の考え方

## 各検証項目の検証内容及び視点

※ 本資料は事務局が作成した検討段階のものであり、委員会における検証結果を示す資料ではありません。詳細は議事要旨をご確認ください。

### 検証項目③ 住民の屋内退避への支援策

#### (1) 検証内容

住民の屋内退避を支援するために必要な対策の在り方、考え方などについて評価。

#### (2) 検証の視点

- 屋内退避の継続に必要なライフラインの維持の在り方
- 住民の家庭内備蓄、行政が用意する食料・飲料水の備蓄量、発災時の供給の在り方
- 屋内退避の継続を支える行政・民間サービスの考え方
- 屋内退避の解除や避難への切替えの考え方

## 各検証項目の検証内容及び視点

※ 本資料は事務局が作成した検討段階のものであり、委員会における検証結果を示す資料ではありません。詳細は議事要旨をご確認ください。

### 検証項目④ 避難者の移動手段の確保方策

#### (1) 検証内容

避難時に自家用車を使用しない住民の避難のための移動手段（バス・福祉車両など）の確保の考え方、輸送方針などについて評価。

#### (2) 検証の視点

- 車両ニーズの想定（自家用車を使用しない住民数の想定、対象者の範囲（観光客等の一時滞在者など））
- バスや福祉車両の確保の考え方
- その他公共交通機関（鉄道、フェリーなど）の活用の可能性
- 効率的な配車の在り方（「バス等配車オペレーションシステム」による配車の運用方法）

## 各検証項目の検証内容及び視点

※ 本資料は事務局が作成した検討段階のものであり、委員会における検証結果を示す資料ではありません。詳細は議事要旨をご確認ください。

### 検証項目⑤ 避難時間短縮のための対策

#### (1) 検証内容

令和5年度・6年度に県が実施した「避難時間推計調査」結果を基に、避難時間（個人の避難時間、避難完了時間）を短縮するための避難経路や避難退域時検査場所の設定、避難指示発出のタイミングの考え方などについて評価。

#### (2) 検証の視点

- 避難指示対象外の住民の避難の想定の考え方
- 方面ごとの避難経路の設定の考え方
- 方面ごとの避難退域時検査場所の設定の考え方
- 方面ごとの信号交差点等での交通誘導の在り方
- 一時移転対象地区ごとの一時移転指示発出の在り方